



アイ電気通信株式会社

A I COMPANY  
PROFILE

D E N K I

Intelligent Transport System  
Railway Traffic Information System  
Electrical work

T S U

S H I N Co.,Ltd

会社案内

インフラ構築と情報通信技術を通じて、豊かな社会の実現に貢献する。

- 1) 情報通信技術の進歩に積極的に対応する。
- 2) 安全な施工で、高付加価値、高品質の設備を提供する。
- 3) 社会の変革に柔軟に追随できる社員の育成に努める。
- 4) 社会的責任を着実に果たす。

「快適で文化的な情報システム (Amenity & Information) の提供を通じて社会に貢献する。」これを昭和40年創業以来、当社のスローガンとして取り組んでまいりました。

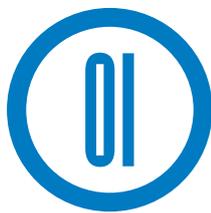
私たちアイ電気通信は、電気通信工事と電気設備工事を兼ね備えた、特殊な技術者集団です。社員一人ひとりの優れた技術力と柔軟な発想力で、お客様に満足していただける品質と安全を提供し、高い信頼と評価をいただいています。また、社員は資格取得に挑戦、技術向上に日々研鑽を重ねています。

私たちは、高速道路交通情報システムや、駅・鉄道交通情報システム、官庁・病院などの公共施設、オフィス、ショッピングモールなどの商業施設、太陽光発電等の省エネ設備など、社会のインフラ整備を担うオンリーワン企業を目指して、時代のニーズを的確にとらえ、これからも社員ともども成長し続ける企業でありたいと考えています。



代表取締役社長 山本 桂

# INFRASTRUCTURE



高速道路交通情報システムの整備

INTELLIGENT TRANSPORT  
SYSTEM



鉄道交通情報システムの整備

RAILWAY TRAFFIC INFORMATION  
SYSTEM



一般電気工事

ELECTRICAL  
WORK



阪神高速天保山JCT

## 高速道路交通情報システムの整備

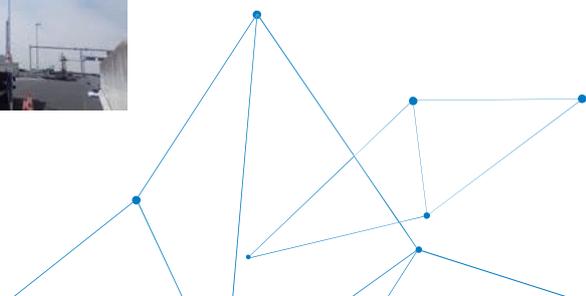
高速道路はさまざまなニーズを抱えています。増大する交通需要への対応、スムーズな交通流の確保、安全性の向上、エネルギー・環境問題への対応など、その多面的なニーズに対応するために、高速道路交通情報システムの整備が進められています。その機能は、交通管制、道路交通情報通信、自動料金収受等の機能を総合したものであり、いわば高速道路の神経系統を形成しています。

アイ電気通信は、情報通信ネットワークの構築に必要な光ケーブルの敷設、接続および機器の設置や調整など、阪神高速道路を始めとする道路通信工事全般を施工しています。

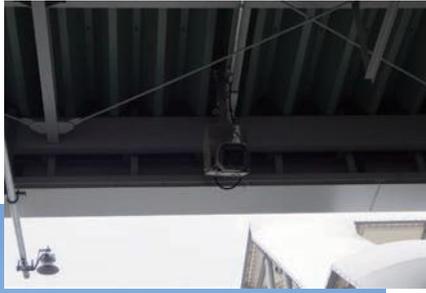
車両検知器設置施工中



非常電話機高欄型



料金所進入灯・フラッシュライト



料金所防犯カメラ



料金所レーン遮断機

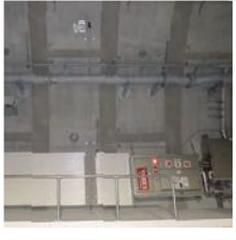


料金所全景



料金所レーン遮断機  
操作スイッチ

拡声放送スピーカー



トンネル情報板設置施工中



可変式速度規制標識



トンネル内全景

合流支援表示板



道路交通システムのネットワーク化に挑戦しています。



非常電話ボックス（非常駐車帯）





鉄道交通情報システムの整備

RAILWAY TRAFFIC INFORMATION SYSTEM



自動改札機の設置

# RAILWAY TRAFFIC INFORMATION SYSTEM

# SYSTEM



高輪ゲートウェイ駅 電気時計（列車発車標）



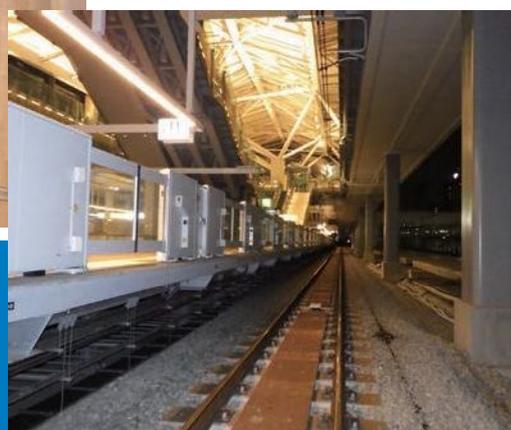
ITV カメラ

## 鉄道交通情報システムの整備

鉄道輸送を安全、快適に利用できるよう駅においては、鉄道交通情報システムの整備が進められています。

アイ電気通信は、電気通信工事の専門会社として、鉄道交通情報システムにおける自動改札機設置、ITV カメラ設置、ホームドア設置、携帯電話の不感知対策工事等を行い、駅施設を安心・安全・快適に利用出来るよう施工しています。

高輪ゲートウェイ駅 ホームドア（転落防止防護柵）



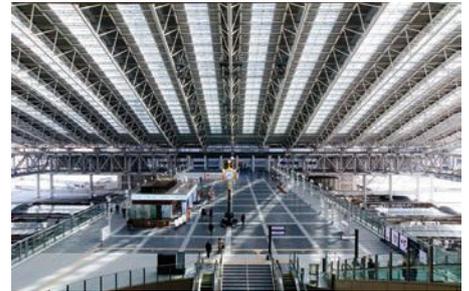


天王寺ミオ

## ELECTRICAL WORK

### 一般電気工事

アイ電気通信は、オフィスビル・商業施設・公共施設・ホテル・流通倉庫・工場・病院などの施設に受変電設備を設置し、空調設備等の電源、照明器具やコンセント、各種弱電機器、防災設備まで安全で快適に使用できるように施工しています。また、太陽光発電を始めとする省エネ設備の施工も行います。



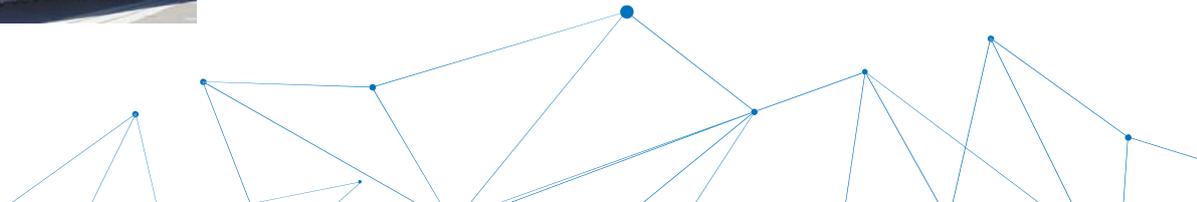
JR 大阪駅 時空の広場

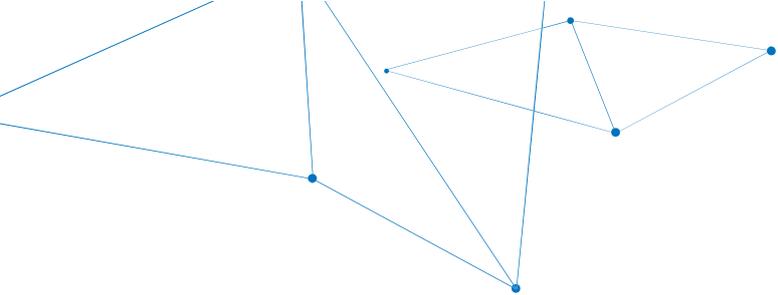


京都鉄道博物館



VIERRA 岸辺健都





無線装置架施工中



太陽光発電所

安全・安心・快適な人々の暮らしを総合的にサポートしています。



無線機器設置



作業前ミーティング



通信塔設置施工中

## 会社概要

会社名	アイ電気通信株式会社
代表者	代表取締役社長 山本 桂
本社	大阪市鶴見区横堤1丁目6番45号 TEL (06) 6915-2100 (代) FAX (06) 6915-2103
創業	昭和40年4月1日
設立	昭和48年4月28日
資本金	7,000万円
事業内容	1. 電気通信設備の工事および保守 2. 無線通信設備の工事 3. 電気設備の工事 4. 消防設備の工事 5. 省エネルギー対策工事
建設業登録番号	国土交通大臣許可(特・般-2) 第16461号 特定建設業 電気工事、電気通信工事 一般建設業 消防施設工事

### ■ 主な資格者

1級電気工事施工管理技士  
1級電気通信工事施工管理技士  
第2・3種電気主任技術者  
エネルギー管理士  
第一種電気工事士  
電気通信主任技術者  
第一級陸上無線技術士  
工事担任者資格(AI・DD総合種)  
消防設備士(甲・乙)  
この他、資格者を多数有しております

### ■ 主要取引先

阪神高速道路株式会社  
日本電設工業株式会社  
西日本電気システム株式会社  
株式会社JR西日本テクシア  
パナソニックグループ  
京セラコミュニケーションシステム株式会社  
株式会社竹中工務店  
星和電機株式会社  
株式会社日立国際電気  
国土交通省、大阪府、大阪市その他諸官庁

### ■ 主要取引銀行

三井住友銀行・天満橋支店  
りそな銀行・都島支店  
大阪信用金庫・南森町支店

平成14年11月	国土交通大臣許可(般-7)第16461号 消防施設工事業
平成16年1月	環境、省エネ関連事業開始
平成19年4月	モバイル関連事業開始
平成19年4月	携帯電話基地局新設工事及び、不感知対策工事に参入
平成24年9月	西日本旅客鉄道株式会社鉄道電気通信工事に参入
平成27年3月	東京営業所を支店に昇格
平成30年7月	恒栄通建株式会社の全株式を取得し子会社化
令和元年7月	株式会社四電工グループとなる 現所在地に本社移転



## 沿革

昭和40年4月 アイ通信工業として創業

昭和48年4月 アイ電気通信株式会社設立 資本金100万円

昭和50年11月 大阪府知事許可（般ノ50）第32936号 電気工事業

大阪府知事許可（般ノ50）第32936号 電気通信工事業

大阪府知事許可（般ノ50）第32936号 消防施設工事業

昭和53年4月 高速道路向け電気通信・交通管制設備工事業開始

阪神高速道路株式会社（旧阪神高速道路公団）

3号神戸線 電気通信設備工事（光通信）に参入

昭和53年12月 資本金380万円に増資

昭和55年11月 東京営業所を開設

平成3年4月 電気鉄道向け電気通信工事業開始

東日本旅客鉄道株式会社鉄道電気通信工事に参入

平成4年3月 資本金1200万円に増資

平成5年10月 鶴見工事センターを開設（現大阪工事センター）

平成5年12月 資本金7000万円に増資

平成8年2月 国土交通大臣許可（特ノ7）第16461号 電気工事業

国土交通大臣許可（特ノ7）第16461号 電気通信工事業



## 本 社

〒538-0052  
大阪市鶴見区横堤1丁目6番45号  
TEL 06-6915-2100 (代)  
FAX 06-6915-2103

## 大阪工事センター

〒538-0052  
大阪市鶴見区横堤1丁目6番45号  
TEL 06-6915-1221 (代)  
FAX 06-6915-0755

## 東京支店

〒130-0013  
東京都墨田区錦糸1丁目16番6号  
TEL 03-3623-8881 (代)  
FAX 03-3623-8884

<http://www.ai-do.co.jp>



当社のコーポレートシンボルは、アイ電気通信を表すアルファベット「a」と「i」をモチーフに、日本列島のイメージをビジュアル化。ライン化表現により、光ファイバーなどの情報システムで全国にネットワークを構築する当社を表しました。  
また、スローガンである、「快適で文化的な情報システム (Amenity & Information) の提供を通じて社会に貢献する。」当社の決意を表現しています。